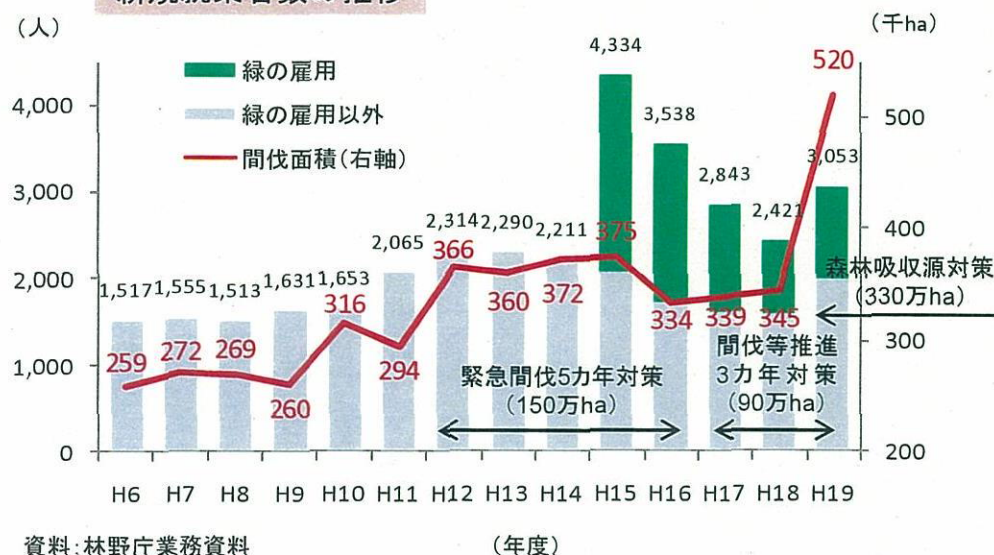


③ 新規林業就業者の増加

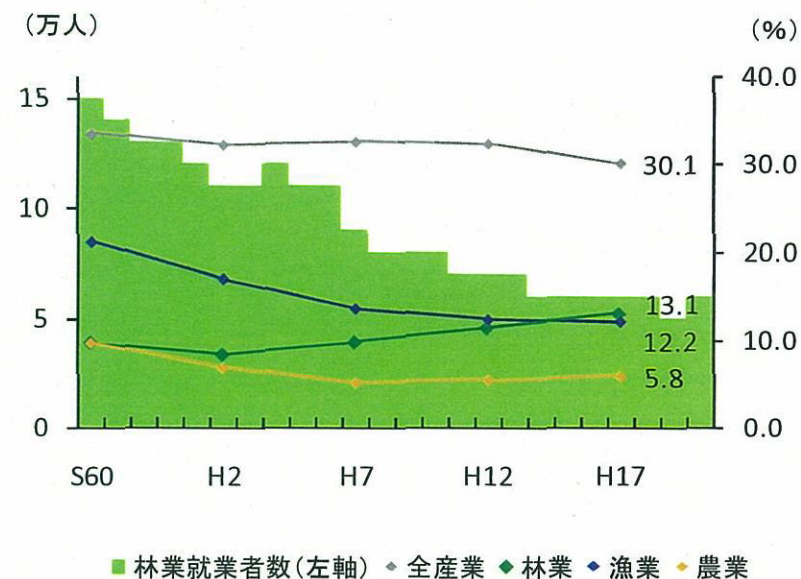
2. 林業労働力の現状分析

- 一方、間伐対策が重点的に実施されてきたこともあり、事業主は安定的な事業量の確保が見込めるようになったことから、高齢となった労働者の退職補充として積極的に新規採用をしている状況。とくに、平成15年度以降実施している「緑の雇用」では、40歳未満の新規就業者が5割から6割程度見られている。
- このため、全産業平均では35歳未満の占める割合が微減傾向にあるものの、林業については増加傾向にあり、就業者の年齢構成の平準化が確保されつつある状況。また、近年、林業就業者数は5万人前後で推移しており、これまでの減少傾向に歯止めがかかりつつある。

新規就業者数の推移



農林水産業における若年者率の推移



「緑の研修生」と林業就業者の平均年齢

単位: 歳

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
緑の研修生	—	—	—	43.4	40.2	40.1	34.5	35.9
林業就業者	54.4	—	—	—	—	54.4	—	—

資料: (上段) 林野庁業務資料、(下段) 総務省「国勢調査」